

蘇州遊記

中国の古都蘇州は凡光明媚の

地より知る上海より東へ百キロ、

高速道路で一時間半の場所にある。

羽田を午後二時半に発ち、三時間下

上海に着いた。但し時差一時間で上海

着は夕方六時半、外はまだ明るく。

日本の酷暑に馴れた身にはやや涼しく

感じられる。二人の若者が迎えに来た

おり、われく夫婦を駐車場まで導き
くれた。荷物も運んでくれとても親切
だった。百元ずつ礼を渡した。あとも
ふは渡し過ぎとわかった。

蘇州シャングリーラホテルに到着したとき、

陽が暮れかけていた。荷物を解き、

衣類をハンガーに掛けたら、家内が空腹

を訴えた。二階の中華レストランに入り、

青島ビール、前菜、主菜を注文した。

「さすが中国の京都だけあって薄味

だわしと家内が言う。そこで酢を頼んだ

が、中国語では酢を「ツール」と発音し

酒へんに昔、醋と書く。日本とは違い黒酢が
小皿で出てくる。

初日は旅の疲れもあり早く寝た。